

事務連絡
令和2年4月25日

教派神道連合会 御中
公益財団法人 全日本仏教会 御中
日本キリスト教連合会 御中
宗教法人 神社本庁 御中
公益財団法人 新日本宗教団体連合会 御中

公益財団法人 日本宗教連盟
事務局長 佐原 透修

(新型コロナウイルス感染症・関係情報)
— 「接触機会の低減」に向けた、更なるご協力をお願い —

**文化庁情報提供 「新型コロナウイルス感染症専門家会議において出された提言
及び文化庁政策課より文化関係団体等宛てに発出された事務連絡について」**

4月22日、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が開催され、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」に、「スポーツ、文化、宗教、娯楽等の各種行事等を含め、大人数の集まる場所や、イベントを避けるということについて、更に徹底していくことが必要である。」(P.6)との提言がなされました。

また、「今後、地域によって、感染者数の低減などが見込まれた際の感染予防戦略として、伝播が生じるハイリスクの場や地域間移動を伴うようなイベントについては、自粛などの要請を継続する可能性があることを関連する事業者は想定しておく必要がある。」(P.12)といった、見解が示され、安倍内閣総理大臣からも、改めて、「8割接触削減」等の協力依頼が、各方面に対して呼びかけられております。

これらを踏まえ、文化庁政策課より文化関係団体に対して、「接触機会の低減に向けた取組の周知について」(事務連絡・令和2年4月23日)の依頼があり、宗務課より資料等の情報提供がありました。

5団体関係の宗教法人各位、関係者各位には、感染拡大防止策、並びに、感染源とならないような「接触機会の低減」対策については、すでに、自主的な取り組みをいただいております。また、宗教法人各位、関係者各位には、新型コロナウイルス感染症による不安や心配を抱えておられる、檀家や氏子崇敬者、信者、信徒の皆様に対して、電話やEメール、インターネットなどをおして、祈りと寄り添いを実践され、精神的な支えとなっておられますことに、改めて感謝申し上げます。

引き続き、接触機会の8割削減へのご協力をお願い申し上げます。

【資料】

別添1：4月23日、文化庁政策課より文化関係団体等宛てに発出された「事務連絡」